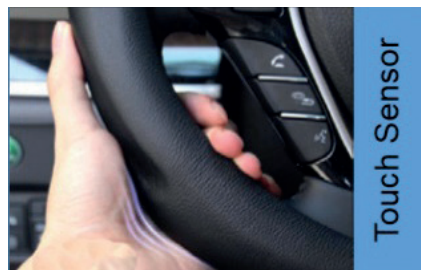
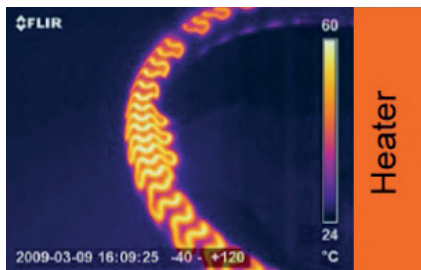


ハンドル タッチ 検知システム Nov2018

cod. 690190440 - 1118

機能

ヒーター と タッチセンサーの統合



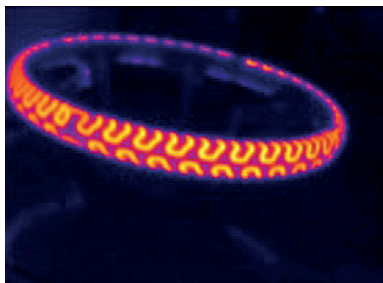
技術 並び 背景

HOD (ハンドルタッチ) は運転者が手をハンドルを握る折りの静電容量を検知するシステム。国際規格 R79が求める ACSF 作動時に運転者がハンドル制御をして居る事を確認する自律運転の主要部品である。

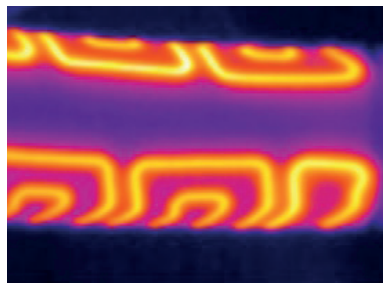
その検知システムは車両ハンドルに組み込まれ、高度にフレキシブルなセンサーとADASシステムに接続するコンパクトなECUから成っている。そのセンサーは必要に応じヒーターと統合している。 作動原理は人間の体のタッチポイントと車両のGNDの間の寄生容量を読み取る事による。このHOD方式はトルクセンサーより高い感度を提供し、車両メーカーの求める温度、湿度の全領域で機能する様にデザインされて居る。

ヒーター性能

ハンドル外周部



ハンドル内周部



フレックスファイルのハンドル組み付け手順

ハンドルPUボデー



ファイルの巻き付け



レザー巻き付け



この利点

- 同じエレメントにセンサーとヒーター機能が統合されて居る。
- 一つのコンパクトなECUでセンサーとヒーターを制御する。
- 一個のMCUでISO26262 ASIL B に対応する。
- タッチ信号は環境温度と相対湿度の変化に耐性がある。
- ヒーターはハンドル全体表面に均一に機能。
- ハンドルに分離したセンサー、ヒーターを設置できる。

ZOPPAS INDUSTRIES会社

ヒーターエレメント技術に於いては50年以上のデザインと製造の歴史を持ち 家電や産業用分野での熱制御にも及んで居る。車両 キャラバン、トラック 特種車両のヒーターと制御を行って来て居る。

客先の求めに応じ幅広いヒーターを提供し 客先の技術的営業的要求の最前線に常に立って居る。